

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



果樹林産センター 信方浩志郎

着果管理

《着果の多い樹》

樹勢の維持や連年結実を目的に、生理落果終期より早期摘果に取り組みましょう。青島のように大玉となりやすい品種では、「樹冠上部摘果」や「枝別全摘果」といった部分的な摘果を行うことで果実の肥大を抑えながら来年の結果母枝を確保します。

《着果の少ない樹》

生理落果を軽減し、着果数を確保するため、新梢の芽かきや摘芯、発育枝や被さり枝の剪除を行います。

《葉面散布》

着果の多い樹は、樹勢維持や回復を目的に、着果の少ない樹は、早期緑化による生理落果軽減を目的に、尿素500倍を5〜7日置きに3回程度散布します。

夏肥

樹には、品質向上のためにストレスをかけるので、今後の樹勢維持や糖酸の蓄積を図るために夏肥を施用します。

- ・ 早生温州

5月下旬 ダブルクイック668 40kg/10a

- ・ 青島温州 6月上旬 みかん化成1号 60kg/10a

病害虫防除

6月からは黒点病の防除をします。黒点病は、防除後30日を経過するか累積降雨量が250mmになった時点で再防除を行います。また、近年ゴマダラカミキリの被害による樹勢の低下や枯死が増えています。一般的には6月中旬〜7月中旬が成虫発生ピークを迎えるため、殺虫剤で予防します。病気で枯れてしまった枝は除去しましょう。

《黒点病》

- ・ エムダイファー水和剤

6月上旬 600倍(6日〜2回)

《チャノキイロアザミウマ、コナカイガラムシ類、ゴマダラカミキリ》

- ・ アクタラ顆粒水溶剤

6月上旬 2000倍(14日〜3回)

- ・ ダントツ水溶剤

6月上旬 4000倍(前日〜6回)